

岩手県立視聴覚障がい者情報センターだより

Tapestry

No.
50
2022.10.10

タペストリー



奉仕員のつどいにお集まりの皆様



奉仕員のつどい 表彰を受けられた方々

関連記事は
2 ページ

奉仕員のつどい

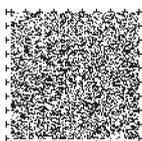


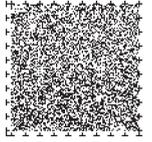
目で聴くテレビ

関連記事は
5 ページ下



マルカンビル大食堂





令和
4年度

奉仕員の
つとどい

日頃、点字図書や録音図書製作等でご協力いただいている奉仕員の皆様への敬意と感謝を表す場である「奉仕員のつとどい」が、7月19日(火)アイーナ、会議室804で開催されました。今年は3年ぶりに「奉仕員のつとどい」として記念講演も行われ、公益財団法人盛岡市文化振興事業団盛岡てがみ館の佐々木章行学芸員を講師にお迎えし「啄木・京助・胡堂」という演題で、本やテレビアニメでも人気となった啄木鳥探偵処から、岩手にゆかりのある石川啄木、金田一京助、野村胡堂それぞれのエピソードや関わりについてユーモアも交えながら楽しくお話いただきました。お話は発見の連続で、時折会場から声上がるなど、大変有

意義な時間を過ごすことができました。

今年度表彰を受けられた方々は、次のとおりです。

奉仕員のつとどい表彰者一覧

(敬称略)

◎岩手県社会福祉事業団

理事長感謝状

阿部 道代 (音訳奉仕員)

◎岩手県図書館協会会長感謝状

小野寺洋子 (点訳奉仕員)

小川 文子 (点訳奉仕員)

松本美由紀 (点訳奉仕員)

菅原千江子 (点訳奉仕員)

中村眞理子 (点訳奉仕員)

長山美季子 (音訳校正奉仕員)

片倉 恒子 (音訳校正奉仕員)

◎岩手県身体障害者福祉協会

会長感謝状

石垣 淳 (点訳奉仕員)

志田千枝子 (点訳奉仕員)

◎岩手県視覚障害者福祉協会

理事長感謝状

遠藤 早苗 (点訳奉仕員)

川島 綾花 (点訳奉仕員)

花原 貴子 (点訳奉仕員)

◎岩手県立視覚障害がい者

情報センター所長感謝状

梅垣 泰子 (音訳奉仕員)

澤谷ひろみ (音訳奉仕員)

長山美季子 (デジタル録音図書編集奉仕員)

そのほか表彰を受けられた方

(敬称略)

◎公益財団法人鉄道弘済会主

催「第52回朗読録音奉仕者

感謝の集い」

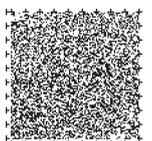
朗読録音奉仕者地区表彰

梅野 正子 (音訳奉仕員)

デイジー編集奉仕者地区表彰

齋藤 正子 (デジタル録音図書編集奉仕員)

皆様お一人お一人の奉仕に、心から感謝いたします。



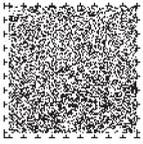
記念講演を聴講されている皆様

夏休み子ども体験会

くみえないって、どんないじど？
を開催しました

8月10日(水)、『夏休み子ども体験会くみえないって、どんなこと？』を開催し、3組7名の方に参加していただきました。

約1時間の体験のメインは、映写室を真っ暗にしての暗闇体験です。手で壁を触りながら慎重に歩きました。参加者からは「見えないと距離の感覚がわからなくなる」といった感想が聞かれました。そのほかにも、声をガイドに鈴の入ったボールをパスしたり、視覚に頼らないゲームをしました。暗闇体験の最後に、似た形状の物の中から指定された物を選んでもらいました。途中のヒントを頼りに、みんな大正解！



販の商品に、点字や触って分かる印がついていること

を知らなかった人も多く、新たな発見だったようです。その後は部屋を移動し、自分の名前を点字で書いたり、Padで便利なアプリを体験したりと盛りだくさんの内容でした。皆さん熱心に取り組んでいて、この体験が視覚障がい者への理解を深めるきっかけになったのではないかと思います。

次は11月に体験会を開催する予定です。多くの人に参加してもらえよう、楽しい企画を考えています。



鈴の入ったサッカーボールが懐中電灯に照らされています

バリアフリー映画会

「おらおらどひどひらぐむ」

9月18日(日)にアイーナ会議室804にて、当センター主催、岩手県立図書館共催によるバリアフリー映画会を開催しました。開場前から行列ができるほどの盛況で、54名の方にご来場いただきました。今回も新型コロナウイルス感染症対策にご協力いただき、無事に終えることができました。

物語をユニークな表現で描いた作品です。コミカルな場面では会場内から笑い声もあり、映画を楽しんでいる様子が見られました。音声解説や字幕があることで、より映画の内容を深く理解することができたのではないのでしょうか。

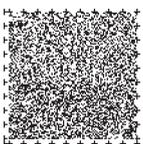
上映作品は、芥川賞作家で遠野市出身の若竹千佐子原作「おらおらどひどひらぐむ」。

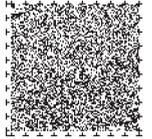
バリアフリー映画会を通じて、障がいの有無にかかわらず、誰もが映画を楽しんでいただき、障がいをお持ちの方の社会参加について考えていただく機会になればと思います。

夫に先立たれひとり暮らしの主人公の女性が、孤独の先で新しい世界を見つける



映画会にお集まりの皆様





視覚部門

令和4年度 奉仕員養成講習会開講

令和4年度の視覚部門奉仕員養成講習会は21人から申込みをいただき、5月にスタートしました。5月19日（木）に奉仕員合同講習会が行われ、県障がい保健福祉課の浅沼主幹兼障がい福祉担当課長から、県内の身体障がい者の状況や取り巻く環境、法律等について詳しく説明をいただき、その後、当センターの中村点字校正員から「みえない人たちの暮らしと情報環境」と題し、当事者の視点も交えながらお話ししました。

受講者の皆様には点字図書や録音図書の意義をより深く理解する機会となったことと思えます。

合同講習後は、点訳、音訳、音訳校正、デジタル録音図書編集の4つのコースに分かれ、



点訳奉仕員養成の様子
講師の説明をしっかりと聴いています

各講師の協力も得ながら、プログラムに沿って養成が進められています。受講者が不安とならないよう、ご協力もいただきながら新型コロナウイルス感染症対策を徹底して行い、来年度の新たな奉仕員誕生を楽しみに取り組んでいきます。



聴覚部門

意思疎通支援者（手話通訳者・要約筆記者）養成事業 2年間の講習がスタートしました

意思疎通支援者（手話通訳者・要約筆記者）の養成は、当センターの数ある事業の中でも重要なものの一つです。養成期間はおおむね2年で、今年度は1年目の年にあたります。手話通訳者養成講習者は7月3日に開講しました。受講者は4名で、今年度は3月5日まで全18回の講習を行います。

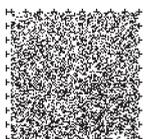
要約筆記者養成講習会は手書きコース、パソコンコースの2つがあります。手書きコースは受講者9名、パソコンコースは5名で、8月28日に開講しました。どちらのコースも3月12日まで全13回の講習を行います。

現在岩手県では、手話通訳者69名、要約筆記者81名が意思疎通支援者として登録されています。意思疎通支援者は、



要約筆記者養成講習会
開講式（8/28）で岩手県中途失聴・難聴者協会の
畠山理事長が激励しました

聴覚障がい者の情報保障の担い手として社会生活のあらゆる場面で活躍していますが、まだまだ十分な人数であるとは言えません。今年度の受講者が、将来の意思疎通支援者として活躍できるよう、講師の皆様のお力添えをいただきながら、養成に努めてまいります。



令和4年度 市町村意思疎通支援事業関係職員向け研修会

8月26日(金)、令和4年度市町村意思疎通支援事業関係職員向け研修会を開催。これは、市町村が実施する意思疎通支援事業の業務を担当する職員や手話通訳者及び要約筆記者(以下、意思疎通支援者)の派遣コーディネートを担う職員を対象に、聴覚障がい者や意思疎通支援者への知識・理解を深める研修を実施すること、円滑な事業と適切な派遣が図られることを目的としており、今年度で5回目となります。

今年度は、岩手県及び13の市と町から21名の方に参加いただき、午前中は、当事者の立場から意思疎通支援事業に望むことや、その活用場面と課題についてセンター職員からお話ししました。また、岩手県でも導入に向けて検討中の「遠隔手話通訳」に

ついて、県の進捗状況や、既に導入している宮古市や一関市の取組について、それぞれお話しただく機会を設けました。午後は、意思疎通支援事業における他機関との連携や、日々の相談対応の状況等、それぞれの自治体の現状や課題等についての意見・情報交換を行いました。参加者からは、他の自治体の状況を知ることができ、参考になったとの声が多く聞かれました。

今後も、意思疎通支援事業が聴覚障がい者の皆様にとって使いやすいものとなるよう努めてまいります。



当センター職員からの講義を熱心に聴講されている市町村担当の皆さん

目で聴く テレビ 「昭和レトロを満喫! マルカンビル大食堂」 放送開始

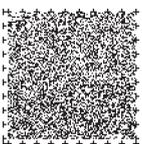
障害者放送通信機構「目で聴くテレビ」は聴覚障がい者のための放送局。全国各地の番組などを手話・字幕付きで放送しています。各地の聴覚障害者情報提供施設が同局に対して番組制作協力を行っており、当センターから今回提供した番組は、「昭和レトロを満喫! マルカンビル大食堂」です。

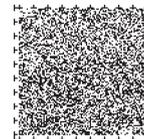


花巻市民に愛され、惜しま

れつつ2016年6月に閉店したマルカン百貨店。その6階にあった展望大食堂が「マルカンビル大食堂」として翌年2月に復活! 昭和レトロな面影が漂う店内の雰囲気やメニューは当時のまま。箸で食べる名物の10段ソフトクリームは高さが約25cmもあります。人気のマルカンラーメンやナポリかつなど、ボリューム満点の手づくり料理をお手頃価格で味わえる、昭和レトロなマルカンビル大食堂を紹介いたします。

目で聴くテレビで9月20日(火)から放送開始! 目で聴くテレビが見られない方も当センターで視聴できます。是非ご覧ください!





お知らせ

「タペストリー」は当センター
ホームページからでもご覧になれます。

視覚部門

*子ども体験会開催

～みえないって、どんなこと?～

開催日：令和4年11月12日（土）

会場：岩手県立視聴覚障がい者
情報センター

研修室・映写室

詳細は、決まり次第お知らせします。

聴覚部門

*電話リレーサービス地域講習会開催

日時：10月22日（土）13:30～15:30（受付13時～）

会場：釜石情報交流センター 会議室

参加費：無料 申込締切り：10月15日

問合せ・申込み先：FAX 019-606-1744

TEL 019-606-1743 メール iwatesan@aiina.jp

同時開催：字幕（手話）入りビデオ 移動ライブラリーも！

*児童向けワークショップ「ほしぞらリウム」開催

日時：11月3日（木・祝）

詳細は、決まり次第お知らせします。

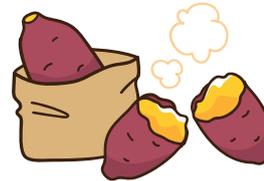
職員 エッセイ de リレー

焼き芋の思い出

情報支援員 吉田 貴博

秋の味覚はおいしいものがたくさんありますね。私は小学生のころに食べた「焼き芋」の味が忘れられません。その当時、学童クラブで焼き芋会をした思い出があります。みんなでサツマイモをアルミホイルで包み、落ち葉の「たき火」の中へ投入していきます。30分ほど待つと、一人に一つずつ出来立ての焼き芋が配られました。学童クラブ職員さんのすすめでバターを付けて食べましたが、じゃが

バターのようにコクが出ておいしかったのを覚えています。今度焼き芋を食べるときは、久しぶりにバターを付けて食べてみようと思います。皆さんのおすすめの秋の味覚は何でしょうか。今年も秋の味覚を楽しみたいですね。



次回は西村千恵子 IT 推進専門員にバトンタッチ

発行／岩手県立視聴覚障がい者情報センター

〒020-0045 岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 いわて県民情報交流センター（アイーナ）4F

TEL 019-606-1743 FAX 019-606-1744 メール iwatesan@aiina.jp

URL <https://www.aiina.jp/site/sityoukaku/>

次回 令和5年2月頃発行予定

「タペストリー」とは

皆で持ち味や個性を織り糸にして、創りあげるセンター、との願いです。感想・ご意見等ありましたら、お寄せください。

